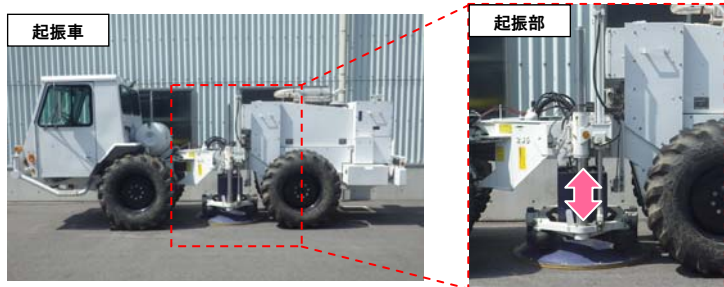
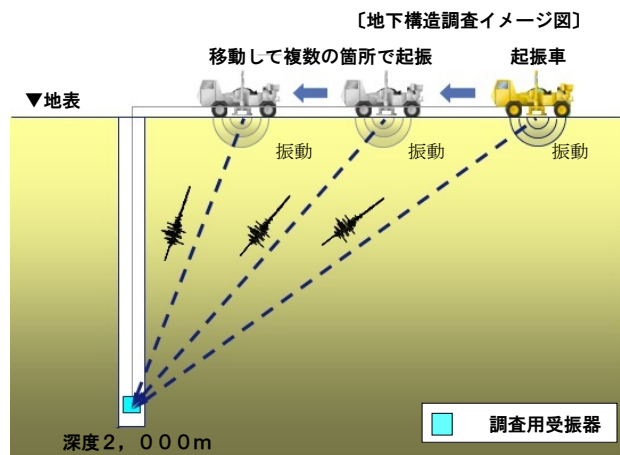


深部地震観測装置の設置

■ 島根原子力発電所の敷地の地下構造におけるデータの拡充を図るために、深度2,000mのボーリングを実施し、そのボーリング孔を用いて地下構造調査を行いました。また、自主的な取り組みとして、地下深部および地表に地震計を設置し、地震波のデータ収集を行います。

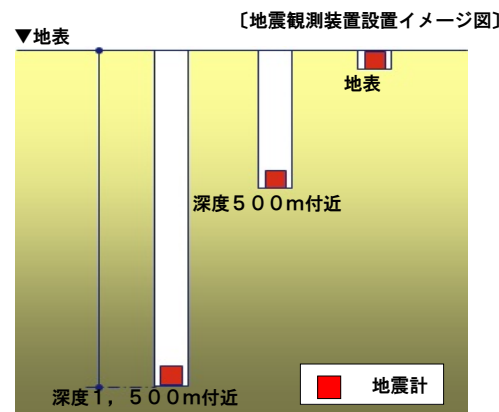
☑ 地下構造調査の概要【深度1,200mまでの調査：平成26年2月完了、深度2,000mまでの調査：平成27年7月完了】

発電所構内において起振車を用いて発生させた振動を、ボーリング孔内にセットした受振器にて受信し、収集された波形を解析することで地層の傾斜構造や岩盤の硬さ等の敷地の地下構造について調査を行いました。



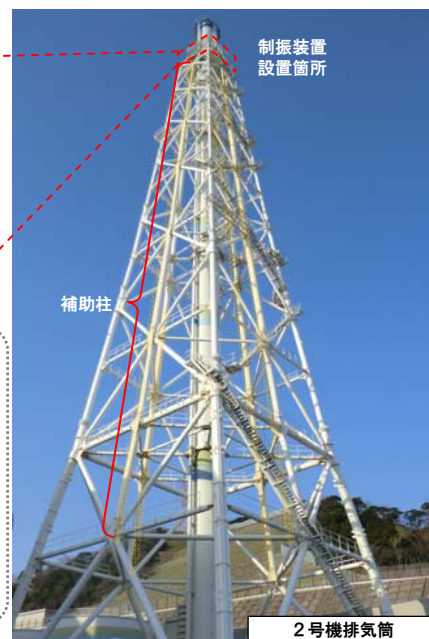
☑ 地震観測装置設置の概要【平成27年7月完了】

地下深部（深度1,500m付近、深度500m付近）および地表に地震計を設置しました。今後、継続的に地震波のデータ収集を行います。



排気筒の耐震裕度向上工事（2号機）

■ 排気筒について、更なる耐震裕度向上を図るため、補助柱や制振装置（粘性ダンパー）の設置等を行いました。



☑ 主な施工内容【平成27年7月完了】

- 補助柱の設置
排気筒の耐震性を向上させるために、筒身を支える鉄塔へ補助柱を設置しました。
- 制振装置（粘性ダンパー）の設置
地震時の揺れを低減させるために、筒身と鉄塔の間へ制振装置を設置しました。

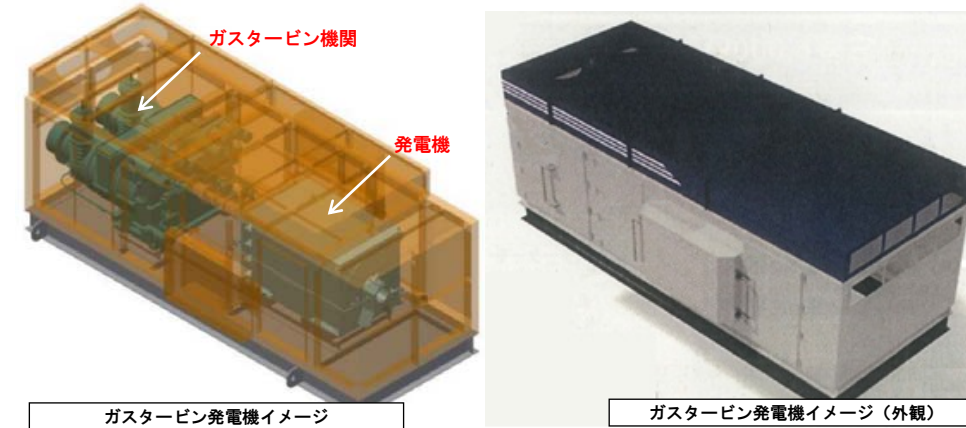
ガスタービン発電機の設置

島根原子力発電所では、外部電源や非常用ディーゼル発電機が使用できない場合の対策として、ガスタービン発電機や高圧発電機を配備し、原子炉や燃料プールの冷却等に必要な電源を確保していますが、更なる安全性向上に向けた自主的な取り組みとして、より耐震性を備えたガスタービン発電機を発電所高台（海拔44m）に設置することとしました。

【平成28年度内完了予定】

☑ ガスタービン発電機の仕様

項目	仕様
定格出力	6,000kVA
使用燃料	軽油
台数	2基

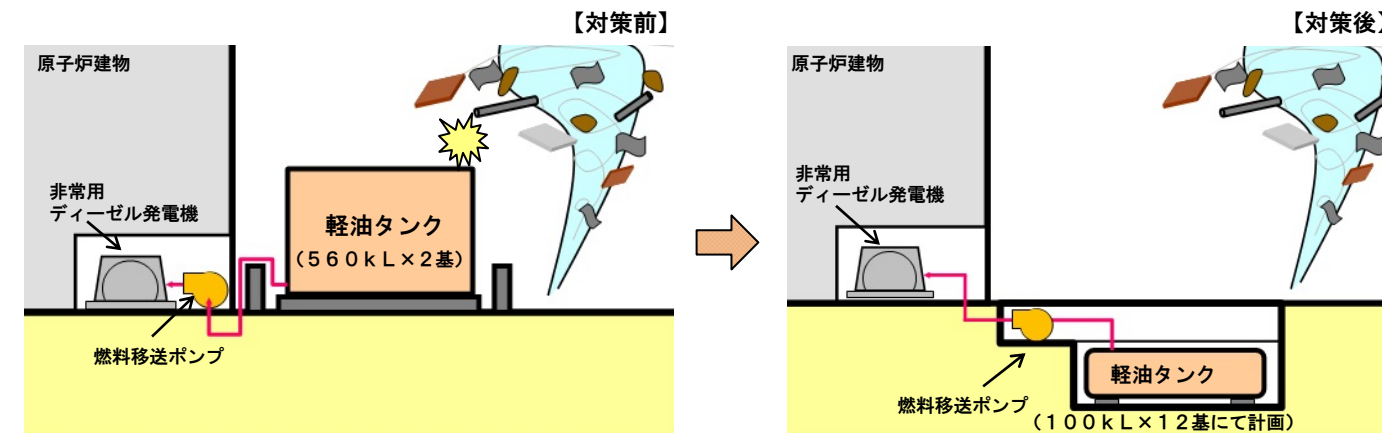


なお、発電所高台への設置にあたり設置場所を検討した結果、地盤の安定性の観点から、現在設置している緊急用発電機（自主対策設備）や周辺設備を撤去した上で、ガスタービン発電機を設置します。

3号機非常用ディーゼル発電設備軽油タンクの地下化

竜巻の飛来物による損傷を防止するために、3号機非常用ディーゼル発電機の軽油タンクを地下に設置します。

【平成28年度上期完了予定】



管理事務所1号館の耐震性向上工事

発電所員が執務する管理事務所1号館の耐震性を向上させるために、自主的な取り組みとして耐震対策工事を実施します。

【平成28年度内完了予定】